

第1回藤沢市石綿関連疾患対策委員会

会議録

2015年（平成27年）7月

総務部 行政総務課

開催日：2015年（平成27年）3月27日

時間：18時30分から20時00分まで

場所：湘南NDビル8階 8-1会議室

出席者：村山委員，永倉委員，名取委員，吉村委員，塩見委員，清水委員，
牛島委員，久保委員，有蘭委員，赤堀委員

【事務局】鈴木市長，石井副市長，飯尾総務部長，中島総務部参事，平
井行政総務課主幹，吉原行政総務課課長補佐，中野行政総務
課主任，齋藤職員課主幹

【保育課】和田参事，瀬戸主幹，新井課長補佐，浅木主任

欠席者：なし

司会	<p>皆様，こんばんは。</p> <p>本日はお忙しいところお集まりいただきまして，誠にありがとうございます ございます。私は，本日司会進行を務めさせていただきます，総務部 長の飯尾と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>ただいまから，第1回石綿関連疾患対策委員会を開催させていただきます。</p> <p>まだ委嘱状の交付前ではございますが，委員会委員の出席人数が半 数を超えておりますので，この会議が成立していることをご報告い たします。</p> <p>なお，会議の状況等を写真撮影及び録音させていただきますので， ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>では，本日の委員会は初めての会議でございますので，最初に皆様 への委嘱式を執り行います。</p> <p>これより，委嘱状を鈴木恒夫市長より交付させていただきます。そ れでは，鈴木市長よろしくお願いいたします。</p> <p>なお，誠に恐縮ですが，私の方でお名前を読み上げましたら，お席 からお立ちくださいますようお願いいたします。</p> <p>赤堀 葉子（あかぼり ようこ）様 有蘭 和子（ありぞの かずこ）様 久保 博道（くぼ ひろみち）様 牛島 聡美（うしじま さとみ）様 村山 武彦（むらやま たけひこ）様 永倉 冬史（ながくら ふゆし）様</p>
----	--

	<p>名取 雄司（なとり ゆうじ）様 吉村 信行（よしむら のぶゆき）様 塩見 和（しおみ かず）様 清水 朋子（しみず ともこ）様</p> <p>それでは、ここで鈴木市長よりご挨拶申し上げます。</p>
鈴木市長	<p>みなさん、こんばんは。市長の鈴木でございます。</p> <p>年度末押し迫った中での開催ということで、お忙しい中ご都合をつけご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>藤沢市石綿関連疾患対策委員会の委員を、ただいま快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>アスベストに関しましては、平成17年に健康被害をもたらすとして、大きな社会問題となりました。</p> <p>本市におきましても、浜見保育園のばく露案件がございます。</p> <p>まずこの問題につきましてご審議いただくことになるかと思えます。</p> <p>今回設置します本委員会につきましては、本市が責任を持ってなお真摯に対応するためのものがございますので、みなさまの忌憚のないご意見ご審議をよろしくお願いしたいと思っております。</p> <p>また今後の対応等につきましてもお願いしていくこととなると思いますが、本日の委員会が有意義なものとなるよう祈念いたしまして、挨拶と代えさせていただきます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、初めての委員会でございますので、委員のみなさまより一言ずつご挨拶を頂戴したいと思います。</p> <p>大変恐縮ではございますが、委嘱した順にお願いできればと思えますので、赤堀委員よりお願いいたします。</p>
赤堀委員	<p>赤堀と申します。</p> <p>私たちの子どもが浜見保育園に通っている時に、広報でアスベストに関することが掲載され、周りの母親等とともに色々調べ、当時の市の職員と2年ほど色々議論をし、今ようやくこうした会議ができて、よかったなと思っております。</p> <p>あの時からこうしたものがあれば、嫌な思いもしなかったのかなと思います。</p> <p>これは氷山の一角であると考えておりまして、他にもまだ案件があるのでないかと思えますので、そうした意味でも本委員会が有意</p>

	<p>義なものになるよう、また市民の方にも広く知ってもらえるようにしていきたいと思います。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
有蘭委員	<p>同じく市民代表として声かけをしていただいた、有蘭と申します。</p> <p>私も浜見保育園に子どもを通わせておりました。</p> <p>浜見保育園は古い校舎でしたが、先生たちが可愛く飾り付けたりしてくれ、子どもたちが安心して通える、すばらしい園でした。</p> <p>一つ申し上げれば、この会にどうして当時の職員がいらっしゃらないのか、また当時アスベストを採取された職員の方が今どうされているのかが心配です。</p> <p>それでも何かお役に立てればと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
久保委員	<p>弁護士の久保と申します。</p> <p>藤沢市から横浜弁護士会を通じて依頼のあったもので、担当の委員会から私にという話があったものでございます。</p> <p>アスベストに関しては、建設に関わっていた方々のアスベスト被害に関する裁判が行われており、その弁護団の一員ということで活動をしております。</p> <p>この藤沢市の案件については、今回初めて耳にしたものでございますが、担当の方から経緯等をお聞きして、平成17年のいわゆる「クボタショック」以降の様々な状況の中で、問題が大きくなり、みなさまが様々な対応をしてきたと聞いております。</p> <p>アスベスト疾患は非常に潜伏期間の長いものでございますので、対策が非常に大事になってくるであろうと考えております。</p> <p>狭い範囲の知識しかございませんが、お役に立てればと考えております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
牛島委員	<p>弁護士の牛島です。</p> <p>東京弁護士会で公害環境委員会のアスベスト部会というものを立ち上げ、その部会長をさせていただいております。</p> <p>ちょうど「クボタショック」の起こる前から行っておりまして、シンポジウム等も行っており、今般3月14日にも建物がらみのアスベストということで行いました。</p> <p>私が初めてアスベストというものに接したのは、ここにいらっしゃる村山先生、名取先生、永倉先生のお導きによるもので、文京区立の保育園に関することが最初でした。</p>

	<p>はじめは話し合いベースで行っていたのですが、訴訟もしながら、最終的には協定を締結し、現在のところでは全園児に対しある程度のところまでの対応をしていただいております。</p> <p>ただ、将来万が一のことがあった場合にどうするのかという論点は残っておりまして、肺ガンを発症した時にどうするのかということ今年度進めていかななくてはならない状況です。</p> <p>また、労働者に関するアスベストの案件も同時にやっている状況です。</p> <p>こういう会ができるというのは画期的で、長い将来のために記録を残すということに意味があると考えております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
村山委員	<p>東京工業大学の村山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>研究としては、環境政策ですとか計画を全般に行っているのですが、アスベスト問題に関しましては大学院生の頃からリスクの管理あるいはコミュニケーションというところで関わってまいりまして、もう25年ほどになります。</p> <p>そういう意味で、今回こういう機会をいただけたことは、大変光栄に思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
永倉委員	<p>永倉 冬史と申します。中皮腫・じん肺・アスベストセンターの事務局長をしております。</p> <p>このアスベストセンターの所長は、名取先生なのですが、そこで被害者の相談や建物の予防活動などを行っております。</p> <p>浜見保育園に関しましては、初期の段階から相談をいただいております。保育園には何度も足を運び現場を見ております。</p> <p>先生がたの聞き取りやシミュレーションにも参加してきた経緯がございます。</p> <p>アスベストに関しましては、非常に難しい部分がございますが、先ほど牛島先生からお話のございました文京区の問題ですとか、大阪府立高校での事案など、子どもたちがいる施設でのアスベスト飛散をどのように考え、その後のリスク対策をどう捉えていくのかということを試験的に検討しているところでございます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
名取委員	<p>名取と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>私は石綿関連疾患に関しては、もともと横須賀共済病院で診察しておりまして、その後クリニックで診てきております。</p>

	<p>その中で、建物によるアスベスト疾患が増えておりまして、日本では初めてとなる大阪での建物のアスベスト被害者の報告をさせていただき、それ以降自治体等での委員として色々とさせていただいているところでございます。</p> <p>この浜見保育園に関しては、他の自治体の例と比べると昔のことが多すぎて、実際に何があったのかが非常に分かりにくい部分が多いと考えています。その過去の部分をどのように捉えていくのか、逆に言えば藤沢市ならではの解決方法を模索していくことになるのかなと考えております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
吉村委員	<p>吉村と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、平塚共済病院で呼吸器内科として21年間務めておりましたが、去年藤沢にて開業いたしました。</p> <p>この度、藤沢市から依頼がありまして、着任いたしました。</p> <p>私は特にアスベストだけに関わっていたわけではございませんが、21年間アスベスト関連の肺疾患の患者さんも診てきておりますので、そうした点からお話できればと考えております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
塩見委員	<p>北里大学医学部の呼吸器外科の塩見と申します。</p> <p>今は北里にありますが、以前は順天堂大学にありまして、その際にアスベストですとか中皮腫の臨床を行っておりました。</p> <p>その頃に、名取先生と出会い色々と勉強させていただき、文京区の事案にも委員として参加させていただいております。</p> <p>臨床的なことで何かお役に立てればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
清水委員	<p>臨床心理士をしております、清水 朋子と申します。</p> <p>他のドクターの先生たちとは畑が違いますが、こうした問題に直面しているご本人、お母さんたちの気持ちの問題などで何かお役に立てればと考えております。</p> <p>アスベストの問題に直接関わることは、臨床心理士の世界ではあまりございません。私も文京区の事案で委員に選ばれたことで、初めてアスベストについて勉強させていただいたという経緯があります。文京区の委員会の前任の臨床心理士から、藤沢の保育園でもこうした事案があるということを聞いておりました。</p> <p>何かのお役に立てればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日出席している市側の職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>まずは、理事者と事務局の紹介を私からさせていただきます。</p> <p>まず、石井副市長でございます。</p>
石井副市長	<p>副市長の石井でございます。</p> <p>私も副市長を仰せつかる前は、市民センターの施設管理をしておりますが、昭和40年代にできた建物でございますのでアスベストが使用されておりました。飛散防止の措置は当然とられているのですが、雨が降りますと雨漏りがあり、それに伴う飛散がないかの検査をしないと市民の利用に供することができないので、3～4日利用の停止をしたりしておりました。</p> <p>その際に、大変深刻な物質であるのだなと感じておりました。</p> <p>そういったことに対して、行政としても真摯に取り組まなければならないということから、今回こうした委員会を立ち上げたものでございます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>それでは事務局を私から紹介させていただきます。</p> <p>まず、総務部の参事で行政総務課長の中島でございます。</p> <p>そして、行政総務課の平井主幹でございます。</p> <p>同じく、吉原課長補佐。同じく担当の中野でございます。</p> <p>次に職員課の齋藤主幹でございます。</p> <p>最後に、私改めまして、総務部長の飯尾でございます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、大変恐れ入りますが、市長につきましては他の公務がございますので、ここで退室させていただきます。</p>
<p><u>(市長退室)</u></p>	
司会	<p>ではここで、本日の資料の確認でございます。</p> <p>次第がございまして、裏面に名簿がございます。</p> <p>それから「藤沢市石綿関連疾患対策委員会設置要綱」がございます。</p> <p>以上3点ですが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事に入る前に、この会議の在り方につきまして、みなさまに何点か確認させていただきたいと思っております。</p> <p>まず、この会議自体の公開非公開についてでございますが、事務局としては広く市民の方にも知っていただくことが望ましい案件でも</p>

	<p>ございますので、個人情報等を含む議題以外の部分につきましては、次回以降公開としていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p><u>(異議なし)</u></p>	
司会	<p>それでは原則公開とすることで、お願いしたいと思います。 また、それに伴いまして、会議開催ごとに事務局において議事録を作成いたしまして、内容を委員のみなさまに確認させていただいたうえで、最終的には市のホームページに載せてまいりたいと考えておりますが、この点につきましてもよろしいでしょうか。</p>
<p><u>(異議なし)</u></p>	
司会	<p>ありがとうございます。 最後に、会議の開催ごとに会議を開催した旨を記者クラブへ情報提供いたしまして、更なる周知を図ってまいりたいと考えております。こちらについてもよろしいでしょうか。</p>
<p><u>(異議なし)</u></p>	
司会	<p>ありがとうございます。 では、今後そのように進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ここで改めて議事に入りたいと思います。 会議の進行につきましては、通常委員長をお願いするものでございますが、委員長が選任されるまでの間は私が務めさせていただきます。</p> <p>はじめに、議事の5「本委員会の設立に至る経緯と本委員会の役割について」、事務局よりご説明申し上げます。</p>
平井主幹	<p>ご説明いたします。 お配りいたしました「藤沢市石綿関連疾患対策委員会設置要綱」をご覧ください。</p> <p>まず目的になりますが、藤沢市が管轄する施設、例えば今お話のあった浜見保育園もございますが、そうした施設でアスベストばく露を受けたということで、疾患を発症する可能性があるという場合の具体的な健康対策ですとか補償等の方針を、この会議においてご検討いただいたり、市にご助言をいただいたりという役割をもった組織でございます。</p> <p>それから、2条にございます組織ですが、それぞれの機関等からご選出いただきお願いするものでございます。人数的には、15名以内ということになっておりまして、本日は10名となっております。</p>

	<p>任期は2年となっておりますが、今回は本日から2年後の2017年3月31日までとさせていただきます、それ以降は2年ごととさせていただきます。</p> <p>次にこれから委員長・副委員長をご選出いただきますが、そうした方をおくというものでございます。</p> <p>続いて、この会議の内容でございますが、委員長が招集するとなっておりますが、まだ委員長が選出されておられませんので、本日は市長が招集させていただいたものでございます。</p> <p>委員会は半数以上が出席しないと成立しないとなっております、また議事につきましては出席者のうち半数以上の賛成がなければ可決ができないとなっております。</p> <p>裏面にうつりまして、会議の審議事項でございますが、石綿疾患にかかる補償からはじまりまして、(5)ということでその他委員長が必要と認める事項につきましてもご審議いただくものでございます。</p> <p>それから6条ですが、専門部会の設置となっております、石綿の疾患については非常に難しい分野でございますので、そこについては専門部会を設けさせていただきたいというものでございます。</p> <p>また、それ以外の分野で専門部会を設けた方がよいと委員長が判断した場合には、委員長の指名で部会を設置することができるというものでございます。</p> <p>8条は報酬ということで記載のとおりでございます。</p> <p>それから、これ以外の関係者に委員会にお越しただいて意見を聞いたり資料を提供いただいたりという場合は、9条に記載のとおり委員の他にも会議にご出席を賜れるというものでございます。</p> <p>あと10条は、最終的に審議が終了した場合、市に対し助言をいただくというものでございまして、庶務は行政総務課において行うというものでございます。</p> <p>以上、簡単でございますが、説明を終わらせていただきます。</p>
司会	はい、説明が終わりましたので、委員のみなさまから何かご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。
有園委員	2条のところの(5)で、その他市長が必要と認めるものと記載があり、また9条に関係者の出席を求められるとありますが、例えば当時の職員等から話を聞かせていただけるような機会は、見通しとしていかなものでしょうか。
中野主任	委員としてご参加いただくか、話を聞く場を設定するかは検討が必

	要ですが、前向きに考えていきたいと思っております。
司会	<p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>特になければ、これでこの議題は終わらせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、委員長及び副委員長の選任でございますが、委員長の選任につきましては要綱において互選と定められていることから、委員のみなさまから委員長につきまして何かご意見がございましたら、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
名取委員	学識経験者であり、アスベストのリスクに関して詳しい、村山委員にお願いしたいと考えます。
司会	ただいま、村山委員に委員長をとのご推薦がございましたが、みなさまいかがでしょうか。
<u>(異議なし)</u>	
司会	それでは特にご意見もないようですので、村山委員に委員長をお願いしたいと思います。
<u>(村山委員、委員長席へ移動)</u>	
司会	先ほど委員のみなさまからご挨拶を頂戴したところでございますが、改めて委員長としてご挨拶をいただきたいと思っております。村山委員長、お願いいたします。
委員長	<p>ただいまご選任をいただきました村山でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>先ほども申し上げたとおり、アスベスト問題との付き合いは長いですが、今回の委員会のように以前にばく露を受けた可能性がある方々に対する長期的な対応を議論する場合は、他にないと考えております。</p> <p>また、先ほど赤堀委員から「氷山の一角」とのご発言がございましたが、藤沢市に限らずこういった問題が全国的に出てくる可能性があると考えておりますので、そうした意味でもこの委員会が先進的な取組になってくると考えております。</p> <p>先ほどもお話があったとおり、前例がないため、新しいことをどんどん考えていきたいと思っております。この委員会が全国のモデルとなるように進めていきたいと考えております。</p> <p>そうした意味でも、是非建設的な議論をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは進行につきましては、これ以降村山委員長にお願いしたい</p>

	<p>と思います。 よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、次第にございますとおり、次に副委員長を選任しますが、副委員長についても互選となっております。 みなさまから何かご提案はございますか。</p>
名取委員	<p>これまでの間、何度か実際に浜見保育園に足を運ばれ、過去に実施したシミュレーションにも参加されている、永倉委員にお願いしてはどうかと考えます。</p>
委員長	<p>今、永倉委員に副委員長をとのご意見がございましたが、よろしいでしょうか。</p>
<p><u>(異議なし)</u> <u>(永倉委員、副委員長席へ移動)</u></p>	
委員長	<p>では、副委員長からもご挨拶をお願いします。</p>
副委員長	<p>先ほども申し上げましたが、子どもたちが色々な場面で有害な物質であるアスベストと接しながら生きているということが、日本のみならず世界中の現状であると思います。 その中で、どういうリスク管理ができるか、また過去に起きた飛散によるばく露を、大人たちがどのように考えフォローしていくのかということが、重大な課題であると考えております。 先ほど委員長からもございましたとおり、このようなことはこれから数多く挙がってくるのかと思われまますので、しっかりと議論をして、きちんとした結論を導いていきたいと思ひます。 よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 それでは、ここで改めて議論に入りたいと思ひますが、議題につきまして事務局からご説明をお願いいたします。</p>
吉原課長 補佐	<p>それでは審議案件ということで、先ほどからお話に出ておりますとおり、本市といたしましては子ども青少年部が所管しております、浜見保育園でのばく露案件をご審議いただきたくて考えております。 所管課の保育課からご説明させていただき、ご審議いただければと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>今お話いただきましたとおり、浜見保育園に関することを審議することですが、よろしいでしょうか。</p>
<p><u>(異議なし)</u></p>	
委員長	<p>では、関係する資料等ございましたら、お配りください。</p>

(事務局にて資料配付)

委員長	では、今お配りいただいた資料につきまして、ご説明をお願いいたします。
和田参事	<p>みなさま、こんばんは。</p> <p>子ども青少年部保育課長の和田と申します。</p> <p>浜見保育園の案件ということで、委員のみなさまからもお話がございましたが、当時より非常に不安が強かったとのことで、ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>この案件につきましては、事前に事務局からお話をさせていただいていると聞いておりますので、簡潔にご説明したいと考えております。</p> <p>お配りしている資料1の3点目、昭和59年のところでございますが、遊戯室の天井に石膏ボードを天井板として張り、5歳児保育室として用途変更する工事の際に、その吹き付け材に直接ボルトを打ち込んだということで、アスベスト粉塵が大量に飛散したのではないかと考えられております。</p> <p>当時の対象児童が30名、対象の職員は26名でございまして、計56名がこの時の対象となる人数でございます。</p> <p>次に、5点目の平成11年度からの部分でございますが、この間4歳児の保育室として使用している中で、断続的に雨漏りが発生し、その雨漏りが乾いた後にアスベストが飛散した可能性があること、また平成16年度に天井板の一部を外して点検を行ったこと、また平成17年度にも天井板の一部を外したことにより、アスベスト飛散の可能性のあるものでございます。</p> <p>この期間の対象者は、児童が326名で、職員は87名、合わせて413名となっております。</p> <p>次のページにお移りいただきまして、3点目の平成19年度から21年度において、希望者に対して市民病院での問診、またはレントゲンと問診を実施しております。</p> <p>また、平成20年度には昭和59年度の対象児童等に対する検診を実施しております。その際の受診者は記載のとおり、25名となっております。みなさまの検診結果はアスベスト関連疾患の所見はなしとなっております。</p> <p>また次のページにお移りいただき、平成25年度には産業医による読影と2回目の検診を実施しております。</p> <p>検診につきましては、受診者は32名でございまして、うち1名の</p>

	<p>方に対し要精密検査との結果が出されました。</p> <p>それに伴いまして、今年度4月にその方に対する面談を実施いたしました。経過観察とさせていただいたところでございます。</p> <p>その面談の際に、ご本人からいただいたご意見といたしましては、雨漏りについてのシミュレーションを実施することや、卒園児への呼びかけの徹底、疾患が発覚した際の藤沢市の対応といった点がございましたので、そうした点をご検討いただくために、このような機会を設けさせていただいた次第でございます。</p> <p>その他、他市等の事例やこれまでのニュースレターの発行履歴等は記載のとおりでございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>説明が終わりましたが、委員のみなさまから何かご意見等がございますか。</p>
<p>赤堀委員</p>	<p>これは市から出された資料で、みなさんは今初めて浜見保育園の問題についてお聞きになったかと思いますが、当時私たちが関わった内容はこれだけではありませんでした。</p> <p>私の子どもがちょうどこの部屋にいましたが、「市の人に来て天井をぱっと開けて、白いものを手に取って持って行った。それをみんなが口を開けて見ていた。」ということをおっしゃっていました。</p> <p>2階には0歳児の部屋がありますが、そこからもその白い物を手づかみで持っていったらしいです。そうしたことも、これには書かれておりません。</p> <p>その後、アスベストのことで私たちが市と協議を始める前に、市が保育園の布団を全部新しくしていました。また、ぬいぐるみも全部捨てられていました。市にはそんなにお金がないはずなのに、どうしてそんなに新調できるのかな？と不思議に思っておりましたら、その後にアスベストの話が発覚しました。</p> <p>こうした経緯も、私たちが市を不審に思った一因としてありますし、そうしたことがこの資料には書いてありません。</p> <p>また、私たち保護者が用意したこのような資料もあるので、今まであったことの手記と合わせて、保護者の代表として、次回資料として提出したいと思います。</p> <p>それには、ここでは言えないくらい色々な事が書かれています。市から出された資料だけ見ると、大して飛散・ばく露していないと感じますが、私自身当初はアスベストの知識なんて全く無かったですが、実際に色々と関わる中でとんでもないものだと痛感いたしました。</p>

	<p>した。市もそれをわかっているから，不安に思って布団を取り替えたりしたのではないかと後で思いました。</p> <p>いずれにしても，この資料に書かれていない事実もたくさんあるので，それについてもきちんとしていただきたい。</p>
委員長	それは何年のことですか。
赤堀委員	<p>平成17年です。</p> <p>それで市が何か隠していたりするのではないかと想着いて，保育園関係の様々な方と話しました。</p>
委員長	おっしゃっているのは，平成17年度の外壁防水工事に伴って天井板を外した際のことですね。
赤堀委員	<p>そうです。</p> <p>その時に，子ども達が見て言っていたことですが，白い何かを市の人がわしづかみにして持って行ったということです。天井工事の検査だったら，別に持って行く必要はないと思います。</p> <p>もう一つは，私たちが天井裏の写真を撮った業者に対し見せてほしいと言った際に，最初見た時はその白い物がすごく落ちていて，「雨漏りしたら絶対に落ちるね」とみんなで言うておりましたが，その写真はすぐ市に渡してしまいまして，その後改めて市から示された写真では白い物が全く落ちていないものになっておりました。</p> <p>そういったこともございますので，市から言われた資料だけでみなさまに審議してほしくないのです。</p> <p>私もできる限り資料を作成し，提供しますが，私たちが経験して子ども達の口から聞いたことも知っていただいたうえで，審議をしていただきたい。</p> <p>これだけだと，大したことがないように思われてしまいそうなので。</p>
委員長	<p>こうしたメンバーで委員会を設置したということは，いろいろな意見を出していただくという側面があると思います。</p> <p>ぜひ，今お話しいただいた点を整理いただいて，資料としてご提出いただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>その他，何かございますか。</p>
牛島委員	市の認識・見解を含めて，当時からの経緯のもう少し詳しい資料をご提出いただきたい。
副委員長	今，赤堀委員からお話のあった写真というのは，もう一度現像することは可能でしょうか。
赤堀委員	あれは市が差し替えたりする前に，業者に直接お願いして見せてもらった写真だったので，手元には残っていません。

	<p>私たちは現場に入れない状況だったので、現場確認の意味でも業者の方をお願いして見せてもらっただけです。</p>
副委員長	<p>というと、やはり今写真そのものをご提出いただくのは、難しいということですね。</p>
赤堀委員	<p>その後のやり取りの中で、市からは「そんな写真はない」と言われたので、業者に確認したところ業者からも「そんな写真は見せていない」と言われました。なので、手元にはありません。</p> <p>当時は市のことが、すごく信用できなくて、私たちが見ていないところで何をされるか、何が起こるか分からないという心境でした。</p> <p>確か、アスベストも自宅にとってあります。当時の市の職員にとっておいてくれと頼まれたけど、どうすればいいのか分からず、袋から出してないまま自宅にあります。</p> <p>その後、市では担当者が変わられて、話が全く進まないまま現在に至っています。</p> <p>だから、今この場に関わらせて頂いたことは本当に嬉しいのですが、市とプロフェッショナルの方達の話し合いだと、どんどん話が進むと思いますが、実際に私たちが経験した数年間は様々な事があって、今だからこそ本当のことが知りたいという思いです。当時は、浜見保育園の建設当時の図面が無くなってしまうということもあったので。</p>
有菌委員	<p>何より、私たちがこの問題を初めて知ったのが広報だったということが、こうしたことの発端なのです。</p>
委員長	<p>当事者の方や今まで関わられた方、その件に関してあまり詳しくない方など、それぞれ情報量が違うので、今日全部というのは難しいと思います。</p> <p>ひとまず今日はこの資料を確認いただいて、追加の点があれば次回以降お願いしたいと思います。</p> <p>それでは他にいかがでしょうか？</p>
名取委員	<p>今の発言にあったように、実際に事故の起きた前後というのは、混乱している場合が多いです。</p> <p>私はこの案件については、事故の当初から知ってはありましたが、保護者の方や自治体の方、業者の方が混乱している中で事態が動いてきた様子はよく分かります。</p> <p>その中で、実際に起きたことをいろんな人の言い分を聞きながら、事実をきちんとまとめていくことが、この委員会の大事な役割でありまして、必要に応じてこの委員会に当時の業者さんをお呼びなどし</p>

て総合化していく必要がある。

その際に大事な事は、どんなことが起きたのかははっきり伝えることです。

少なくとも、ある人が手づかみでアスベストをここまで持って行ったとしたら、大体このくらいは飛散するだろうということは、我々が推計できる。

逆に言うと、具体的な事実を教えていただくことが非常に大事だということです。

どのくらいの時間だったのか、やっていた時間が30分だったら濃度が上がってもそれほどでもないですが、その状態が10日放置されたらかなりの量になってしまう。

できたら、分単位で起きたことなのか、もう少し長かったのかななどをきちんと伺い、まとめる事で、今後どれだけ危ないかのリスクを推計できますので、ここが大事なところなので、より具体的な事実と期間をお示しいただきたい。

この案件で懸念しているのが、雨漏りをして、吹きつけを通過して雨が落ちて、その後雨が乾いてアスベストが飛散した可能性があるということが言われているが、その点の検証が必要ということです。

手でつかんでアスベストを持って行ったとか、アスベストにボルトを打ったとか、天井板を外したという事案はいろんな国でいろんな所で測られたデータがあるので、ある程度の時間的な事実がわかれば、危険性等の推測ができます。

しかし、雨漏りの件はいろいろと事案を探しましたが、雨漏りが吹きつけ部分を通過して落ちて、それが乾燥した場合のリスクに関するデータというのは世界中に無いのですね。

なので、平成11年から19年の4階の保育室で雨漏りがあって、そこに落ちた雨が乾燥して、その子ども達が吸っていたらどれだけ危ないかと、保護者の方たちに聞かれた時に、一番分からない部分なのです。

その点については申し訳ないですが、こちらでシミュレーションを考えていただかないといけないので、流れなどの案を検討しながら、また個別にこれはおかしいのではないかとといったご意見も頂きながら、回数を重ねることで全貌が分かってくる。

要は、「まとめを作ってはこれでいいですかと委員会で確認し、何か違うという人がいれば資料を持ってきて追加して直しましょう。」というやり方で、より事実近づけていくしかないと思うので、その

	やり方をぜひして頂きたいと思います。
赤堀委員	事実を積み上げるという観点からも、当時のアスベストを手づかみで持って行った職員さんからお話を聞くということもできるのでしょうか。
委員長	<p>それに関しては委員会の要綱がありますので、こちらの第9条を見ていただいて、委員会の関係者出席ということで、委員長が必要があると認める時は委員以外のばく露関係者等を委員会、判定部会、専門部会への出席を認めると、そういうことで進めることは可能です。</p> <p>今の件でいいますと、ここは赤堀委員の方で石綿経過何々部会という部会をぜひ作っていただき、その部会に関係者の方をお呼びするという形にすれば解決するかと思います。</p> <p>ですから、職員の方を呼びたいとか、当時の工事の関係者を呼びたいということで、ばく露調査部会のような形として、そもそもどれだけばく露した事実があるのかななどの疑問のある部分を、その他の専門部会を作って委員になってもらい、その中で明らかにしていく。そういう作業をされることを望まれているのかと思われませんが。</p>
赤堀委員	そういうことをきっちりまとめて資料にすると、より浜見保育園のアスベストの今後の事を考えるにもベストだということですね？
名取委員	<p>そうです。</p> <p>そういう形の専門部会を作っていないと、恐らく今のところがずっともやもやしたままになってしまうと思います。</p> <p>永倉副委員長もそうしたことには慣れていると思いますので、そういうことをなされて報告していただければと思います。</p>
副委員長	<p>時が経つと事実が忘れられて、だんだんと資料も集まりにくくなると思いますので、今のうちにきっちり集めて、その部分の飛散がどのようだったのかを記録として残すことは、子どもたちにとっても大事なことだと思います。</p> <p>それともう一点、今のお話よりも遡って昭和59年の時のばく露ということも想定されていますので、その資料をどうやって集めるかを別途考えなければならないと思います。</p> <p>まあそれはそれとして、今気になられている段階での資料については、今のうちにできるだけ集めてまとめておく必要があると思います。</p>
久保委員	私は、浜見保育園、藤沢市の問題について全く知らなくて、今回依頼があって初めて説明を受けました。

	<p>この委員会の役割というのは、アスベスト疾患の判定と今後の補償について検討していくという整理で聞いていましたが、今の経緯があつてこういう委員会を設けることになっているわけで、経緯についても関心をもっていろいろとお話を聞いておりました。</p> <p>今回の経緯の文書も事前に送ってもらい目を通しましたが、いろんな経緯・蓄積等、いわばリスクコミュニケーション、実際のありようがあつたと思いますが、過去のばく露の状況とかが主になるのか、この委員会で解明していくということで先に進めていくということですね。</p>
名取委員	<p>そうですね。</p> <p>つまり、事実が100パーセント分かっているところではないということです。</p> <p>こうらしいという部分があつて、なおも不確定な部分があり、逆に言うと、様々な立場の方がいてこういう委員会があつて、事実はどうだということが複数のもので検証されていない部分が残つてしまっているということです。</p>
久保委員	<p>その点に関して市で残っている資料等がありますか。</p>
和田参事	<p>今回は第一回の委員会ということで、経緯については簡易な資料でございましたが、市として保管している資料はかなりの量がございましたので、分厚くなってしまうかもしれませんが、お出しすることは可能と思います。</p>
委員長	<p>今回は1回目ということで、とりあえずはこのあたりだと思いますが、次回以降は今後のことのみならず、過去の検証も行っていくということをお願いしたいと思います。</p> <p>どの程度進めていくのかは、専門部会を作るというのも一つの方法ではあると思いますが、いずれにしてもそうした点も含めて今後議論を深めていくということをお願いします。</p>
有菌委員	<p>過去の検証の部会を作るといふことにはびっくりしておりますが、子どもを保育園に預けている親にも知らされないまま、広報にアスベストに関する記事が出ているといった、そういう市の姿勢やあり方、そこも含めたリスクコミュニケーションが当時すごく議論になりました。</p> <p>そのことを含めて、私たちが専門部会を作るといふよりも、やはりまず市が責任を持ってやっていくという、当時の姿勢を含めて見直していただく必要はあるかなと思います。</p> <p>私たちには何も知らされないまま、広報への掲載というかたちでお</p>

	<p>知らせし、それをたまたま私たちが見つけてこうなったという、その馬鹿にされたというか、そうした気持ちすらも払拭されていません。</p> <p>そういったことも含めて、検証してほしいと思います。</p>
名取委員	<p>具体性をもって見ているのは、当時のお子さんや保護者の方だったりしますので、ご負担を全部おかけするということはないですが、ある程度は関わられた方がご納得できる結果になると思います。</p> <p>言ったことも反映されていない文書があったら、これではなかったと思うのは当然のことで、そうした一つ一つが反映されながらの文書でないと飛散に関わる検証が十分にできない。</p> <p>関係者が十分検討しないと納得した結果にはなりません。もしくは、関係の方を呼んでそこらへんを総合化していく。</p> <p>皆さんだけでやるのではなく、弁護士の先生をはじめ、永倉先生や様々な方がいらっしゃいますので、そうした中で飛散等の検証をしていくことがよいと思います。</p>
赤堀委員	<p>個人的には皆さんに公平に、市から出された資料だけで判断しないでほしいと考えています。</p> <p>私たち保護者とかが、実際に関わった経緯も一緒に見て頂き、それは違うということや、全てが納得できるようにしてもらいたいです。</p> <p>私たちが納得すれば、他の保護者も市民の方もきっと納得できると思います。</p> <p>資料を作ったりもしますし、もし調べたいなと思うことがあれば相談させていただきます。</p>
名取委員	<p>私もこれまでの間、平成20年度と25年度の健康診断を2回担当させていただきました。すでにお分かりのこととは思いますが、昭和47年に浜見保育園は開設されて、昭和59年に工事が行われたわけなので、アスベストが飛散した時からすでに35年経過しています。</p> <p>他の自治体にはない、過去のばく露が問題となって、それが元で発症してもおかしくないような、そういった時期に入ってきていることが藤沢市の一番の特徴なのですね。</p> <p>そうすると、他の自治体ですとまだご本人が成人されていなかったりしますが、藤沢市ではすでに成人になられている。</p> <p>自分で判断してCTを撮ろうとか、その際の負担はどう考えたらいいのかなどの質問が出ると思います。</p> <p>その点に関しては、医師とか学識経験者の仕事ではなくて、自動車</p>

	<p>賠償保険ではこのような形で負担をしているとかの例を用いていただきながら，弁護士さん等の法曹関係者の方で決めて頂き，またこちらの委員会に報告していただかないといけない部分があると思います。</p> <p>いわゆる健康診断等に伴う，様々な生活上の負担をどのように考えたらいいかという点では，法的な部会を作って，検討したものをこの委員会に報告して頂かないと，今まで2回検診させていただいて，実務上現に困っている部分がございます。</p> <p>そこは申し訳ないですが，牛島委員なりを中心とした部会を作って頂いて，そういう生活面での補償についての検討結果をこの委員会に戻していただかないと，我々では対応できない問題があるので，その点をお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>専門部会については，また後で議論をする機会を持ちたいと思います。</p> <p>この委員会全体ですと，みなさまお忙しいのでお集まりいただく回数がそれほど持てないと思いますので，専門部会を設置して進めていただくことになると思います。</p>
名取委員	<p>イメージとしては，3～4か月に一度委員のみなさまにこの委員会にお集まりいただき，その間に専門部会が必要なら集まって検討を進める。</p> <p>この専門部会はたくさん開催しないと実態が解明できないということであれば，必要に応じて回数を増やして進めていく。</p> <p>そういう進め方をして，またみなさまに戻して頂くのがいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>はい，よろしいでしょうか。</p> <p>それでは，次の審議事項がございましたら，ご説明をお願いいたします。</p>
和田参事	<p>はい，それでは次に平成27年度の検診につきまして，お願いしたいと思います。</p> <p>資料の2をご覧ください。</p> <p>これまでの検診につきましては，昭和59年度の対象者に対しては平成20年度に実施し，その後は5年ごととさせていただいておりました，来年度からは平成12年度から19年度までの対象者に対する検診が開始されます。</p> <p>左肩に別紙と記載されている資料をご覧ください。</p> <p>このように，平成27年度からは毎年検診が行われることとなります。</p>

	<p>すので、その方法につきましてご審議いただければと思います。 資料3をご覧ください。</p> <p>現在検討しているところでは、10月頃に対象者に対して説明会と検診のお知らせを送付いたしまして、11月以降に説明会、12月に検診といった流れで考えております。</p> <p>また、これに伴いまして、検診に際する交通費ですとか、休業された場合の補償等、どのようにしていくべきかご検討いただきたいと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>みなさまから何かご質問などございますか。</p>
<p>赤堀委員</p>	<p>母の立場で言わせていただきますが、毎回アスベストのニュースレターが届くのですが、薄い水色の封筒に紙が一枚届くだけで、私たちは興味があって心配もしているので中も確認しますが、昭和59年の方々は実際騒動も見ていないし、もしかしたらばく露しているかもしれないという危険や怖さを実感していないような気がします。</p> <p>まずは、アスベストにはこういう怖さがあるということを市が発信して、注意喚起しなければいけないと思います。</p> <p>藤沢市がせっかくこういうことをしているのだから、絶対参加しなさいというふうにはまず発信してもらいたい。</p> <p>二十歳くらいの若い男女が「検診を受けませんか？」くらいの通知で果たして受けるのか？アスベストの事もよく分からないし、行かないと思います。</p> <p>そうした意味で、警鐘を鳴らすのも市の役割かなと思います。</p> <p>それに、アスベストニュース自体もものすごく字が細かいので、もう少し解りやすく、本人が検診に行くことを自覚して、自らケアするようになるように発信してもらいたい。</p> <p>今の段階でも、当時子どもがばく露しているかもしれないと大騒ぎしていた母達でさえ、関心が薄れてきている方もいます。</p> <p>もし自分の子どもが検診に行かなくて、突然疾患を発症してしまったら取り返しのつかないことにならないこともない。もう少しちゃんと検診を受けようと思うような内容や、そういう危険があることを知らせる方法で、例えば封筒を派手にして興味を引くように工夫する等してもらいたいです。</p> <p>病気の怖さとか、15年経たないと症状が出ないとか、そうした部</p>

	分も改めて子ども達に発信できないかなと感じています。
委員長	今の点については、資料3の検診の流れで言うと、10月の発送の時にこういった形でお知らせをするかということですね。 こういう委員会ができたので、ぜひ今までと違う形の通知なども検討していきたいと思いますので、何かいい案などありましたら、ご提案をお願いします。
牛島委員	たまたま私が海外にいた時に、健康被害の問題がありまして、その際に配布されたパンフレットが、文字はとても少ないのですが、漫画のような絵で解説が加えられていて、英語で作られていましたが、英語が分からない人でも十分伝わるように作られていたものがありました。 それなどは、とても目を引くものでありまして、現に言葉が分からない人にも伝わると思いましたので、そんなものを参考にさせていただけるといいのかなと思います。
副委員長	1つの提案ですが、私たちは東日本大震災の被災地のアスベスト調査を4年間やってきましたが、そこで神戸大学と京都精華大学の大学生が、被災地で取材をし、薄いマンガの冊子を作ったのですね。今増刷しているところだと思いますが、対象者にその冊子をお送りして、アスベストについて理解してもらうというのは可能かもしれないなと思います。 そういったものを新たに作ってもいいかもしれませんが、今あるものとしてはそういうものもあります。若い人達に理解してもらうツールづくりが、少しはできているので、そういった物も利用できるかなと思います。
赤堀委員	せっかく市がお金を出して通知しているのに、それが結果的に本人に伝わらないのではもったいないので、是非検討してもらいたいです。
委員長	よろしいでしょうか。 では、対象者への通知についても今後検討していくということで、よろしくお願ひしたいと思います。 それでは、先ほどお話にも出ていましたが、ご説明のありました検診とその結果判定に関しましては、要綱に判定部会を設置するとの記載がございますので、判定部会において検討を進めていただきたいと思います。 あと、補償につきましても、先ほどから話に出ているように、別途

	検討が必要であると思いますので、部会を設置して対応していきたいと思いますが、いかがでしょうか。
<u>(異議なし)</u>	
委員長	それでは、部会員は委員長が指名することとなっておりますので、判定部会につきましては、名取委員・吉村委員・塩見委員・清水委員の4名にお願いしたいと思います。 補償に関する部会につきましては、牛島委員と久保委員のお二方にお願いしたいと思いますが、みなさまよろしいでしょうか。
<u>(異議なし)</u>	
委員長	では、今の2つの部会で検討を進めていただくこととしまして、次回の委員会の際には部会のご報告もお願いしたいと思います。 以上で、本日用意されていた議題は全て終了となりますが、改めて委員のみなさまからご質問などはございますか。
久保委員	補償の関係ですが、当面はその検診に関わる費用をどうするかということによろしいでしょうか。 その他に、今のところ関係者で負担になっているということはないのでしょうか。
委員長	今のところ検診にあたっての費用だけですが、もし他にも何かあるようでしたら、その都度ご検討いただくことになると思います。
久保委員	では、その他に必要となってくる部分については、次回以降の委員会で検討されるということによろしいですか。
委員長	部会から検討事項を上げていただいてもいいですし、事務局から新たな課題の提示もあると思います。 その他ございますでしょうか。
有菌委員	今日の部分も録音されて、公開の対象になるのでしょうか。
中野主任	議事録を作成させていただき、それを各委員に確認させていただいた後に、ホームページへ掲載してまいりたいと考えております。
有菌委員	つまり、本日から公開の対象になるのですね。
委員長	省略される部分もあるかと思いますが、補筆等される場合もあるかと思いますが、修正の時間をいただければと思います。
有菌委員	議事録は名前入りになるのでしょうか。
委員長	審議内容が個人的な情報になった場合には、匿名になることもあり得ると思いますが、正式な形で委員会が開かれていますので、各委員に責任のある発言を頂くということからも、名前入りでお願いします。 最後に事務局から何かございますか。

中野主任	次回の開催予定でございますが、各部会の進捗にもよりますが、5月下旬の開催を目安に進めてまいりたいと考えております。 また、委員長と連絡を取り合いながら、部会の進捗を確認しながら、みなさまにご連絡申し上げたいと思います。
委員長	では、本日の委員会は以上となります。お疲れ様でした。